

式 辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

木々の芽も膨らみはじめ、春の息吹が感じられる今日の佳き日に、保護者並びに御来賓の皆様のご臨席を賜り、本校第四十二回卒業式が挙げてできますことは、私どものこの上ない喜びであり、心から感謝申し上げます。

さて、小学校六年間の課程を修了し、本日、東ときわ台小学校を巣立ち行く卒業生の皆さん、改めまして、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが小学2年生の終わり頃から起こってしまったコロナ禍において、先が見えない不安な日々を過ごし、いろいろと不便を強いてしまったところがあったのではないかと感じています。しかし、そのような中でも皆さんは六年間の小学校生活を立派にやり遂げ、素晴らしい思い出をたくさん残して、今、飛び立とうとしています。巣立ちの日にあたり、お話を一つします。「夢を叶える 人生の朝六時」というお話です。

多摩大学名誉教授、宮城大学名誉教授である久恒 啓一（ひさつね けいいち）さんが書かれた著書「図で考える人は仕事ができる」の中で、久恒さんは「人生時計」という考えを提案されています。

「人生時計」とは、人の人生を平均寿命から概算ではありますが八十年と仮定して、それを一日に置き換えたものです。

具体的に言うと、生まれたときは夜の0時、八十歳が夜中の十二時です。八十歳の半分の四十歳は正午 お昼の十二時、二十歳は朝六時、になります。

「人生時計」で二十歳は朝六時ですが、六時になると、そろそろ起き出して出発する準備をします。人生の朝六時、夢に向かって叶えるために頑張るときです。

三十歳は朝九時で、まだ一日は始まったばかりです。仕事をしていれば熱が入り出し、今日も一日頑張るぞ、と思う頃です。

四十歳はお昼の時間で、午後に向かう人生の中間点。これからどう生きていくか、自分にもう一度問い直すときです。

さて、皆さんは生まれてから十二年が過ぎていますが、この人生時計でいうと何時頃でしょうか？

およそですが、朝の三時四十五分前後になります。

一日の中で始まったばかりの、まだ夜が明けていない三時四十五分頃です。

皆さんは、普段この時間に何をしているのかと言いますと、きっと寝ているのではないのでしょうか。

お布団の中で、朝が来て太陽が昇るまで寝ているのではないかと思います。

この「寝ている時間」とは、どのような時間かと申しますと、「学んだことの力を蓄えている」「体を鍛え作り上げている」「心を育て内面を成熟させている」など、将来のために何かに励む時間のことです。

本気で将来の自分のために、栄養をつけ心と体を鍛え、成長しているときです。それが今なのです。

これから先、先ほど皆さんが卒業証書をもらう前にそれぞれが宣言したことを叶えられるよう、ぜひこれからも

夢に向かって努力を続け、成長し続けてもらいたいと考えます。

しかし、皆さんがこれから進む道は未だ誰も見たり出会ったりしていない「未見」の道です。

これまでの先人や私や保護者の方々が歩んできた道とも、きっと違う時代を生きることになることでしょう。

ただ、時計は動いています。

確実に新たな未来へと針は進んでいます。

まだ見ぬ自分の成長した姿を追い求め、どのような時代になったとしても、今日の前にあることにベストを尽くし、チャレンジしていくことに変わりはありません。

そのためには、中学校で、また高等学校やその先などで、周りの人と出会い、向き合い、沢山のことを学び合い、認め合い、そしてつながり合う中から吸収するのです。

時には、失敗して悩むこともあるでしょう。しかしそれも成長の糧となります。

今はまだ夜が明けていません。

そう、まだお布団の中にいてじっくりと力を蓄えている、成長している真ただ中の時間です。

そもそも本当の一日は、まだ始まっていないのかもしれませんが。

一日をどう過ごすか、これから好きなように決めて、そして使えます。

ぜひ、「夢を叶える 人生の朝六時」をめざし、周りにいる人たちを尊重する気持ちを大切に、力強く人生を歩んでいってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。(左・右 礼)

お子さまと一緒に小学校の門をくぐられた入学式の日から、六年間が過ぎようとしています。目の前の立派に成長したお子さまの姿に感激も一入(ひとしお)のことと思います。今日までお子様を慈しみ、はぐくまれた日々には、様々な一日があったことと拝察いたします。その子どもたちも今日ここに見事に成長して、卒業の日を迎えました。この六年間、いつも温かな気持ちで学校にご協力していただきましたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、ご来賓の皆さま方におかれましては、ご多用の中、ご臨席いただきありがとうございました。皆様方のお力添えもあり、子どもたちはこれまでの学校生活をより充実したものとして送ることができました。心からお礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、未来への出発の時です。自分の可能性を信じ、様々なことに挑戦し、困難にめげず、物事や事象の良い面を大切にして、未来に向かって羽ばたいてください。そして、ぜひ、充実した日々を過ごし、中学校でも活躍されるよう、頑張ってください。皆さんの母校となる、この東ときわ台小学校の先生方全員が、いつもいつまでも、大好きな皆さんのことを心から応援しています。

卒業生の未来が希望に満ちた輝かしいものになることを祈念して式辞といたします。

令和六年(二〇二四年)三月一八日

豊能町立東ときわ台小学校

校長 張 裕太郎